



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月4日

上場会社名 株式会社リンコーコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 9355 URL <http://www.rinko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 南波 秀憲
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 前山 英人 TEL 025-245-4112
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,510	△20.4	△187	—	△103	—	△121	—
2020年3月期第1四半期	4,409	3.2	151	△38.2	185	△31.5	130	△34.9

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △89百万円 (ー%) 2020年3月期第1四半期 19百万円 (△79.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△44.96	—
2020年3月期第1四半期	48.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	37,400	14,556	38.9	5,396.28
2020年3月期	37,436	14,724	39.3	5,458.26

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 14,556百万円 2020年3月期 14,724百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	30.00	30.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2021年3月期の配当予想につきましては、本日（2020年8月4日）公表しました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	7,190	△18.7	△360	—	△280	—	△260	—	△96.38
通期	14,130	△15.9	△610	—	△500	—	△470	—	△174.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2021年3月期の連結業績予想につきましては、本日（2020年8月4日）公表しました「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	2,700,000株	2020年3月期	2,700,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	2,418株	2020年3月期	2,418株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	2,697,582株	2020年3月期1Q	2,697,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2020年4月1日から6月30日までの3ヶ月間(以下、当第1四半期)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって緊急事態宣言が発出されたことに伴い、社会生活及び経済活動が大きく制限され、極めて厳しい状況で推移しました。緊急事態宣言解除後、経済活動は徐々に再開してはいるものの、未だ収束の見通しは立たず、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社企業グループの事業拠点である新潟港全体の貨物取扱量は、前年同四半期比で減少し、当社企業グループにおける運輸部門の貨物取扱量も新型コロナウイルスの影響により減少いたしました。また、ホテル事業部門も一連の行動自粛により営業活動に大きな影響を受けました。

この結果、当第1四半期の当社企業グループの売上高は35億1千万円(前年同四半期比20.4%の減収)、営業損失1億8千7百万円(前年同四半期は1億5千1百万円の利益)、経常損失1億3百万円(前年同四半期は1億8千5百万円の利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失1億2千1百万円(前年同四半期は1億3千万円の利益)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(運輸部門)

当社運輸部門と運輸系子会社4社を合わせた同部門の当第1四半期の貨物取扱数量は、一般貨物、コンテナ貨物共に減少し、合計で前年同四半期比13.2%減少の137万2千トンとなりました。新型コロナウイルス感染拡大の状況の中、コンテナ貨物は日用雑貨品など一部の輸入貨物の取扱は堅調に推移いたしました。輸出貨物はアジアを中心に仕向国の経済活動が制限されている影響を受け減少いたしました。一般貨物も市況の低下に伴い素材原料を中心に主要な輸入貨物が減少し、国内の企業間物流も需要減少によりトラック輸送の取扱が減少いたしました。

この結果、同部門の売上高は25億5百万円(前年同四半期比4.4%の減収)となりました。また、減収に伴い下払作業費や輸送費等の変動費は減少したものの、労務コストや減価償却費等の固定費を補うことができなかったことにより、9百万円のセグメント損失(前年同四半期は4百万円の利益)となりました。

(不動産部門)

同部門の業況に大きな変動はないものの、賃貸不動産の管理費が前年同四半期で若干増加した結果、売上高は7千9百万円(前年同四半期比0.5%の増収)、セグメント利益は4千8百万円(前年同四半期比1.9%の減益)となりました。

(機械販売部門)

建設機械販売については大型機械の販売や件数の増加などにより好調に推移した結果、機械整備を合わせた同部門の売上高は、3億9千9百万円(前年同四半期比12.3%の増収)、セグメント利益は6百万円(前年同四半期は4百万円の損失)となりました。

(ホテル事業部門)

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、緊急事態宣言による行動自粛や同宣言の解除後も夜間の外出や宴会を控える状況が続きました。そのため、株式会社ホテル新潟は宿泊、レストラン、宴会各部門ともに壊滅的な影響を受けました。株式会社ホテル大佐渡につきましても、緊急事態宣言後、佐渡市による来島自粛要請の影響もあり、宿泊客数が激減しました。この結果、ホテル2社を合わせた同部門の売上高は、1億1千7百万円(前年同四半期比85.7%の減収)、セグメント損失は2億5千万円(前年同四半期は8千9百万円の利益)となりました。

なお、7月からは宿泊客について徐々に回復の兆しが見られますが、宴会はソーシャルディスタンスを確保するため少人数の規模に留まるなど、従来通りの状態まで回復するには時間を要するものと認識しております。

(商品販売部門)

建設資材販売については、セメント系商品を納入する工事案件が前年同四半期比で減少いたしました。また、貿易代行についても新型コロナウイルスの影響から取扱が減少いたしました。この結果、同部門の売上高は3億7千6百万円(前年同四半期比24.0%の減収)、セグメント利益は9百万円(前年同四半期比12.4%の減益)となりました。

（その他）

保険代理店業、産業廃棄物の処理業を合わせたその他の売上高は、7千万円（前年同四半期比9.6%の増収）、セグメント利益は7百万円（前年同四半期比885.7%の増益）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末と比べて3千6百万円減少し、374億円となりました。この主な要因は、流動資産の増加8千2百万円、固定資産の減少1億1千8百万円であります。なお、固定資産の減少につきましては、主に有形固定資産の減価償却によるものであります。

負債の部は、前連結会計年度末と比べて1億3千万円増加し、228億4千3百万円となりました。この主な要因は、流動負債の増加1億6千5百万円、固定負債の減少3千4百万円であります。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べて1億6千7百万円減少し、145億5千6百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金の減少1億9千9百万円、その他有価証券評価差額金の増加1千8百万円、退職給付に係る調整累計額の増加1千3百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期第2四半期（累計）及び通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、合理的な業績予想の算定が困難なため未定としておりました。その後、国内における緊急事態宣言の解除等により経済活動再開等の動きが見え始めたことから、現時点で入手可能な情報に基づき、連結業績予想を公表しております。

詳細は、2020年8月4日公表の「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	448,779	522,571
受取手形及び営業未収入金	2,720,889	2,776,238
電子記録債権	326,412	341,574
たな卸資産	93,762	109,793
未収還付法人税等	20,777	26,213
その他	283,094	200,919
貸倒引当金	△998	△2,354
流動資産合計	3,892,718	3,974,956
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	24,135,037	24,140,773
減価償却累計額	△16,060,932	△16,187,796
建物及び構築物(純額)	8,074,104	7,952,977
機械装置及び運搬具	2,412,220	2,406,030
減価償却累計額	△2,065,138	△2,073,833
機械装置及び運搬具(純額)	347,082	332,197
土地	22,013,326	22,013,326
リース資産	712,317	721,718
減価償却累計額	△340,346	△369,332
リース資産(純額)	371,971	352,385
建設仮勘定	—	5,772
その他	1,274,790	1,276,113
減価償却累計額	△1,096,692	△1,104,644
その他(純額)	178,097	171,468
有形固定資産合計	30,984,583	30,828,128
無形固定資産		
リース資産	158,143	150,009
その他	44,305	41,024
無形固定資産合計	202,449	191,034
投資その他の資産		
投資有価証券	2,027,896	2,064,008
繰延税金資産	93,611	107,067
その他	427,176	426,892
貸倒引当金	△191,637	△191,590
投資その他の資産合計	2,357,046	2,406,378
固定資産合計	33,544,078	33,425,541
資産合計	37,436,797	37,400,497

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,371,412	1,366,976
電子記録債務	188,514	218,935
短期借入金	2,350,000	2,350,000
1年内返済予定の長期借入金	2,611,982	2,666,984
リース債務	168,939	161,144
未払法人税等	44,577	62,069
賞与引当金	299,022	151,345
その他	692,883	914,974
流動負債合計	7,727,331	7,892,430
固定負債		
長期借入金	7,184,852	7,159,772
リース債務	385,260	363,582
繰延税金負債	827,181	823,681
再評価に係る繰延税金負債	4,875,664	4,875,664
退職給付に係る負債	1,375,449	1,399,439
資産除去債務	170,825	171,402
その他	166,143	157,616
固定負債合計	14,985,375	14,951,158
負債合計	22,712,706	22,843,588
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,950,000	1,950,000
資本剰余金	809,241	809,241
利益剰余金	2,776,581	2,577,368
自己株式	△7,062	△7,062
株主資本合計	5,528,760	5,329,547
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	134,302	152,509
土地再評価差額金	9,406,573	9,406,573
退職給付に係る調整累計額	△345,545	△331,721
その他の包括利益累計額合計	9,195,330	9,227,361
純資産合計	14,724,090	14,556,908
負債純資産合計	37,436,797	37,400,497

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高		
運輸作業収入	2,374,280	2,316,704
港湾営業収入	35,939	34,452
不動産売上高	73,199	73,729
機械営業収入	346,518	374,821
ホテル営業収入	821,298	116,329
商品売上高	486,786	372,144
その他の事業収入	271,221	222,466
売上高合計	4,409,244	3,510,647
売上原価		
運輸作業費	2,220,823	2,172,240
港湾営業費	29,643	28,013
不動産売上原価	25,049	27,052
機械営業費	330,741	351,755
ホテル営業費	646,499	294,963
商品売上原価	471,865	358,005
その他の事業費用	183,238	136,447
売上原価合計	3,907,859	3,368,478
売上総利益	501,384	142,168
販売費及び一般管理費	349,628	329,657
営業利益又は営業損失(△)	151,756	△187,488
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	53,062	35,825
助成金収入	—	63,646
雑収入	2,697	7,099
営業外収益合計	55,760	106,572
営業外費用		
支払利息	19,859	21,400
雑支出	1,887	750
営業外費用合計	21,747	22,151
経常利益又は経常損失(△)	185,769	△103,068
特別利益		
固定資産売却益	44	—
特別利益合計	44	—
特別損失		
固定資産処分損	15,210	2,084
会員権評価損	—	550
特別損失合計	15,210	2,634
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	170,604	△105,702
法人税、住民税及び事業税	61,610	56,365
法人税等調整額	△21,754	△40,781
法人税等合計	39,856	15,583
四半期純利益又は四半期純損失(△)	130,748	△121,285
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	130,748	△121,285

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	130,748	△121,285
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△122,565	18,207
退職給付に係る調整額	11,139	13,824
その他の包括利益合計	△111,426	32,031
四半期包括利益	19,321	△89,254
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,321	△89,254

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、当社企業グループにおきましては、ホテル事業部門を中心に大きな影響を受け、売上高の減少リスクが生じていると認識しております。

このような状況を踏まえ、当社企業グループは2021年3月ころまでその影響が続くとの仮定に基づき、会計上の見積り(主に固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性)を実施しております。当該仮定については、前連結会計年度から重要な変更はありません。

なお、当該見積りは現時点における最善の見積りではありますが、新型コロナウイルス感染症の収束時期や事業環境への影響についての不確実性が高いため、今後の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	運輸部門	不動産部門	機械販売部門	ホテル事業部門	商品販売部門	計		
売上高								
外部顧客への売上高	2,617,315	73,199	346,518	821,298	486,786	4,345,118	64,125	4,409,244
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,465	6,166	8,967	3,866	8,768	30,234	—	30,234
計	2,619,781	79,365	355,486	825,165	495,554	4,375,352	64,125	4,439,478
セグメント利益又は損失(△)	4,916	49,519	△4,615	89,949	11,107	150,877	769	151,647

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業務、産業廃棄物の処理業務等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	150,877
「その他」の区分の利益	769
セグメント間取引消去	100
その他の調整額	9
四半期連結損益計算書の営業利益	151,756

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	運輸部門	不動産部門	機械販売部門	ホテル事業部門	商品販売部門	計		
売上高								
外部顧客への売上高	2,503,366	73,729	374,802	116,329	372,163	3,440,391	70,256	3,510,647
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,737	6,005	24,286	1,459	4,504	37,993	—	37,993
計	2,505,103	79,734	399,089	117,788	376,667	3,478,384	70,256	3,548,640
セグメント利益又は損失(△)	△9,023	48,585	6,180	△250,395	9,730	△194,922	7,587	△187,334

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業務、産業廃棄物の処理業務等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△194,922
「その他」の区分の利益	7,587
セグメント間取引消去	△200
その他の調整額	45
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△187,488

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。